

首都圏段戸会

平成8年10月
第7号

会の発展願い

会則を制定



会長
稻葉 誠治
(中37回)

今年も首都圏段戸会開催の季節がやつて参りましたが、会員の皆様におかれましては、お元気にお震災、梅雨時から夏場にかけての大洪水等、大きな災害が各地で起きた、そしてあの忌々しいオウム事件の続発と、まったく憂うつな一年でしたから、今年こそは良い年であつてほしいと、誰しもが願つたいたと思います。

その願いも空しく、今年は病原性大腸菌O（オーワー）157の集団感染が各地で発生し、今だに感染原因が不明という、非常に不安な日々を送らざるを得ない状況が続いております。

このような暗い世相を、一時的にも忘れさせてくれたのが、やはりスポーツ選手の活躍です。今年も春先から、ウインブルドンで伊達選手が大活躍をしてくれました。

夏はアトランタ五輪が開催され、テレビにかじりついて寝不足になつた方も、随分いたのではない

かと思います。参加した日本の選手達はそれぞれ活躍をしてくれましたが、一番感動したのは、なんといつても有森裕子さんの激走です。

完走するだけでも高い評価をされるマ

ソラン競技で、前回

のバルセロナに統いてメダルを獲得したことは素晴らしい限りですが、その間、二回に亘る足の故障手術を克服しての成果であり、想像に絶するチャレンジ精神には、頭が下がりました。彼女のゴールする姿を見て涙したのは、私だけではないと思います。

秋には、超ビッグなニュースが舞い込んできました。あの野茂投手が渡米二年目で、ノーヒットノーランという快挙を達成したことです。野茂の活躍は、今年も日本中を沸かしてくれましたね。

さて、話しを本題に戻します。第一回首都圏段戸会が開催されたのが、今から二十五年前の昭和四十七年八月でした。翌年は休会となりましたので、開催回数こそ今年が二十四回目ですが、まぎれもなく二十五年目になる訳です。

この二十五年を振り返つてみると、その歩みは決して順風満帆ではありませんでした。一時は赤字財政という大ピンチを迎えた時もありましたが、現在は会員の皆様のご協力により、財源的にも、また運営面でも安定した会となりつつあります。

そこで、四半世紀を迎えたのを機に、より安定した首都圏段戸会づくりを図るために、会則を制定することにしたいと存じます。同封の会則案をご一読願い、ご賛同下さるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年の首都圏段戸会は十一月二十三日（土）に開催します。皆様お誘い合わせのうえ、たくさんの方々のご出席を、心からお待ちしております。

日 時	平成八年十一月二十三日(土)	十二時～十五時三十分
場 所	メルパルクTOKYO(郵便貯金会館)	
電 話	○三(三四三三)七二二一	
地下鉄	都営三田線芝公園下車	徒歩五分
J R	都営浅草線大門下車	徒歩八分
	徒歩十分	
会 費	男子 八、〇〇〇円	
● 玉越房吉先生 (化学)		
● 吉野 功先生 (保体)		
招聘恩師 (五十音順)		
問合せ先		
岡崎市東京事務所内 首都圏段戸会事務局		
電 話	○三(三五八一)〇三六七	

運営基金協力のお願い

例年、本会の運営基金としてご寄付をお願いしておりますが

平成七年度は二ページの会計報告通り、多額の基金が集まりました。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

会の円滑な運営を図るため、本年度も「一口壱千円以上」の寄付を仰ぎたく、なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

なお、払い込みについては、同封の振替用紙を当日受付にご持参頂ければ幸いです。

平成七年度(第一回) 首都圈段戸会報告



気がついてみると三河弁で話している——それが年に一度の同窓会の風景です。第二十三回首都圏段戸会は、平成七年十一月十二日日の日曜日、東京芝のメルパルクTOKYOで開催されました。

まず、首都圏段戸会の顔でもある稻葉会長の挨拶にはじまりました。毎回、岡崎からお元気にお越

し下さる畠部同窓会長からは、母

校の創立百周年に向けて積極的に

取り組んでおられるとの説明、続

いて、はじめてお目にかかる松井

校長先生から、進学状況を含めて

解け、いつものことながら、先生と生徒、先輩と後輩、男性と女性という垣根がなく、お顔馴染みはもとより、はじめて出席された人でも知らず知らずの内に、楽しいなごんだ輪が広がる——というのがこの会です。

当日お招きした石川先生、戸苅先生、中嶋先生は、元生徒であつた人達に取り囲まれて、何やらお

話がはずんでいる様子で、一際純

粹な三河弁が聞こえてきました。

今回も、地元岡崎、安城、名古屋から、飛び入りで参加して下さいました方が数人ありました。毎回このようなに、地元の方々が来て下さるのも、恒例のことです。

予定の二時間半はあつという間に過ぎてしまい、最後は全員で校歌を合唱し、名残りを惜しみながら幕を閉じました。

閉会後は、三々五々と同期会が近くのプリンスホテル等で盛り上がり、親交を暖めるのが常です。一年に一回のこの同窓会は、同じ机で学んだ者同士のなつかしい思い出と、日々喧騒の中で暮している者にとっての、一服の清涼剤を味わう時でもあります。私にとって

先生と生徒が一体となつて、文武両道に健闘しているとの報告がありました。聞いている内に、いつかしい思いがしました。

乾杯後は、すっかり会場も打ち

ついたと思いつきました。

つまよるような錯覚をおこし、とてもな

つかしい思いがしました。

も、毎年楽しみにしている、かけがえのない同窓会です。

(高14回 水谷鏡子記)

平成7年度会計報告

平成8年3月

科 目	収 入 の 部	支 出 の 部
前 期 緑 基 運 営 費 会	1,431,470 412,580 761,871	
総 会 経 刷 費 印 通 繁 越 次 期 費 金		945,835 185,689 130,800 1,343,597
合 計	2,605,921	2,605,921

会の運営を お手伝い下さい	
本年度は、左記の皆さまのお世話を通り、若い人達が増えつきました。	
(高8回) 河井 鈴木	(高9回) 中根 淳
(高9回) 伊野 三之元	(高10回) 上田紀美江
(高11回) 勝田 彩湖	(高11回) 吉川 則之
(高12回) 鶴田 文男	(高12回) 柴田 一男
(高13回) 石川 優	(高13回) 太田 真澄
(高14回) 中村 宏行	(高14回) 南崎 由任
(高15回) 松井 純	(高15回) 小田 成孝
(高16回) 榎澤 政	(高16回) 加藤 恭子
(高17回) 柳澤 政	(高17回) 中野 宏信
(高18回) 木村 博	(高18回) 浅田 令子
(高19回) 高橋 道人	(高19回) 杉山 修
(高20回) 太田 弘	(高20回) 深山 孝
(高21回) 蜂須賀 ケイ子	(高21回) 羽谷 充
(高22回) 服部 登	(高22回) 西村 直人
(高23回) 木村 博	(高23回) 斎藤 悅子
(高24回) 丹羽 鼎	(高24回) 香村 時良
(高25回) 畠山 康雄	(高25回) 近藤 和佳子
(高26回) 丹羽 鼎	(高26回) 金井 豊子
(高27回) 清水 哲夫	(高27回) 松本 満紀子
(高28回) 林 錦	(高28回) 加藤 正
(高29回) 有馬 宗一	(高29回) 中島 純子
(高30回) 沢木 駿	(高30回) 都築 健子
(高31回) 沢木 駿	(高31回) 磐村 澄江
(高32回) 大瀧 仁志	(高32回) 加藤 恭子
(高33回) 小澤 一郎	(高33回) 中野 宏信
(高34回) 小澤 一郎	(高34回) 志村 浩
(高35回) 小澤 一郎	(高35回) 中野 宏信
(高36回) 長瀬 けい子	(高36回) 畠山 美智代
(高37回) 石川 武	(高37回) 斎藤 寿子
(高38回) 深田 弘	(高38回) 斎藤 美智代
(高39回) 榎澤 政	(高39回) 近藤 寿子
(高40回) 榎澤 政	(高40回) 斎藤 美智代
(高41回) 藤生 宣明	(高41回) 斎藤 美智代
(高42回) 成瀬 英俊	(高42回) 斎藤 美智代
(高43回) 丹羽 駿	(高43回) 斎藤 美智代
(高44回) 丹羽 駿	(高44回) 斎藤 美智代
(高45回) 丹羽 駿	(高45回) 斎藤 美智代
(高46回) 丹羽 駿	(高46回) 斎藤 美智代
(高47回) 丹羽 駿	(高47回) 斎藤 美智代
(高48回) 丹羽 駿	(高48回) 斎藤 美智代
(高49回) 丹羽 駿	(高49回) 斎藤 美智代
(高50回) 丹羽 駿	(高50回) 斎藤 美智代
(高51回) 丹羽 駿	(高51回) 斎藤 美智代
(高52回) 丹羽 駿	(高52回) 斎藤 美智代
(高53回) 丹羽 駿	(高53回) 斎藤 美智代
(高54回) 丹羽 駿	(高54回) 斎藤 美智代
(高55回) 丹羽 駿	(高55回) 斎藤 美智代
(高56回) 丹羽 駿	(高56回) 斎藤 美智代
(高57回) 丹羽 駿	(高57回) 斎藤 美智代
(高58回) 丹羽 駿	(高58回) 斎藤 美智代
(高59回) 丹羽 駿	(高59回) 斎藤 美智代
(高60回) 丹羽 駿	(高60回) 斎藤 美智代
(高61回) 丹羽 駿	(高61回) 斎藤 美智代
(高62回) 丹羽 駿	(高62回) 斎藤 美智代
(高63回) 丹羽 駿	(高63回) 斎藤 美智代
(高64回) 丹羽 駿	(高64回) 斎藤 美智代
(高65回) 丹羽 駿	(高65回) 斎藤 美智代
(高66回) 丹羽 駿	(高66回) 斎藤 美智代
(高67回) 丹羽 駿	(高67回) 斎藤 美智代
(高68回) 丹羽 駿	(高68回) 斎藤 美智代
(高69回) 丹羽 駿	(高69回) 斎藤 美智代
(高70回) 丹羽 駿	(高70回) 斎藤 美智代
(高71回) 丹羽 駿	(高71回) 斎藤 美智代
(高72回) 丹羽 駿	(高72回) 斎藤 美智代
(高73回) 丹羽 駿	(高73回) 斎藤 美智代
(高74回) 丹羽 �骏	(高74回) 斎藤 美智代
(高75回) 丹羽 駛	(高75回) 斎藤 美智代
(高76回) 丹羽 駛	(高76回) 斎藤 美智代
(高77回) 丹羽 駛	(高77回) 斎藤 美智代
(高78回) 丹羽 駛	(高78回) 斎藤 美智代
(高79回) 丹羽 駛	(高79回) 斎藤 美智代
(高80回) 丹羽 駛	(高80回) 斎藤 美智代
(高81回) 丹羽 駛	(高81回) 斎藤 美智代
(高82回) 丹羽 駛	(高82回) 斎藤 美智代
(高83回) 丹羽 駛	(高83回) 斎藤 美智代
(高84回) 丹羽 駛	(高84回) 斎藤 美智代
(高85回) 丹羽 駛	(高85回) 斎藤 美智代
(高86回) 丹羽 駛	(高86回) 斎藤 美智代
(高87回) 丹羽 駛	(高87回) 斎藤 美智代
(高88回) 丹羽 駛	(高88回) 斎藤 美智代
(高89回) 丹羽 駛	(高89回) 斎藤 美智代
(高90回) 丹羽 駛	(高90回) 斎藤 美智代
(高91回) 丹羽 駛	(高91回) 斎藤 美智代
(高92回) 丹羽 駛	(高92回) 斎藤 美智代
(高93回) 丹羽 駛	(高93回) 斎藤 美智代
(高94回) 丹羽 駛	(高94回) 斎藤 美智代
(高95回) 丹羽 駛	(高95回) 斎藤 美智代
(高96回) 丹羽 駛	(高96回) 斎藤 美智代
(高97回) 丹羽 駛	(高97回) 斎藤 美智代
(高98回) 丹羽 駛	(高98回) 斎藤 美智代
(高99回) 丹羽 駛	(高99回) 斎藤 美智代
(高100回) 丹羽 駛	(高100回) 斎藤 美智代

(高5回) 林 栄一
平野 右
近藤 隆夫
西村 直人
蜂須賀ケイ子

小六 要子
青木 かゑ子
水谷 鏡子
成瀬 徹

神田裕二